2011年3月11日に発生した東日本 大震災から 12 年を迎えようとしていま す。甚大な被害を受けた南三陸町では 「あの日あのときを忘れない」との思い で、復興へ向けたさまざまな取り組みが 行われています。その一つ、南三陸震災 復興祈念公園では、旧防災庁舎を含む震 災機構から、町を襲った津波の脅威や 命の尊さを学び、祈りの丘に登りな がら当時の津波の高さを実感できる

2022 年 10 月にオープンした東日本大震 災伝承施設です。名称は、「南三陸 311 メモ リアル」。今までの伝承館と大きく異なるの は、博物館の様な展示で学ぶような仕組みで はなく、「実際に震災が起きたらどうする?」 と南三陸の住民たちの証言を基に問いかけ る内容となっています。建物は、国立競技場 も手掛けた隈研吾氏が建築設計。また一つ、 震災の記憶を語り合う場が誕生しました。

第3回高校連絡協議会に豊郷から2名の高校生が参加!=





それがよく伝わる演奏でした!最後のポーズ も、すご~く、かっこよかったです!

それぞれの好きなものや得意なことが よくわかる手作りのトランプ。仲良く取く

り合う姿がとてもよかったですよ!

ぞれが大切に積み重ねてきたことが伝わる

3 回犬上郡特別支援学級

交流会が開催されました!

『生徒一人ひとりの「進路保障」をめざして ~生徒の思いに学ぶ~』 =滋賀県人権教育研究会

まし

もお 21 22 23 24 25 可

参加者の感想です

しんどい思いを聴いて、 一緒にどうしていけば良い か考えてほしいという教師 に対する訴えが心にしみた ・高校連協の企画の中で一 番心に突き刺さる内容です 今日の話を聴きながら教師 という仕事を今一度考える 時間をもらいました。

・自分が高校生だとして、 教師の前で想いを語ること ができるだろうかと考えさ せられました。